

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	環境保全	コード	作成者	役職	環境課長
		01-02-01	氏名	山本 健次	
			電話	64-1822	

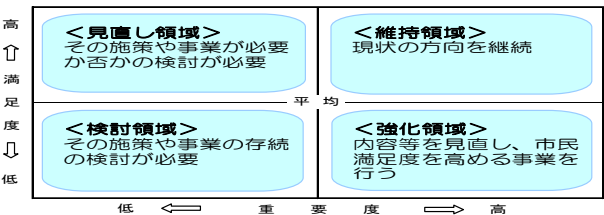
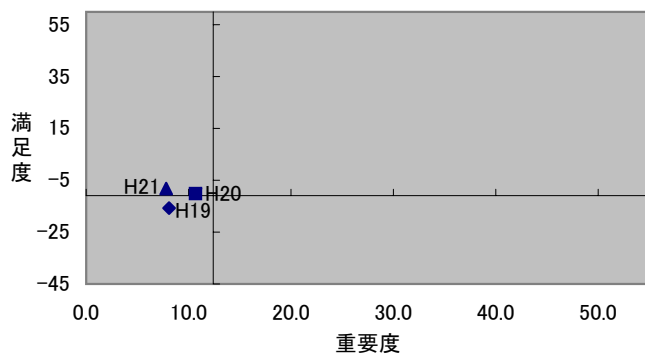
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	自然と共生するまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動などの環境問題の影響を受ける市民に対し、大気や水質の調査測定を行い公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	大量生産・大量消費・大量廃棄型社会による環境破壊は、大気汚染、水質汚濁、酸性雨、地球温暖化現象、オゾン層の破壊といった現象として現れている。これら環境問題に取り組むには市民一人ひとりの日常生活や事業者の事業活動の中で、それぞれが環境に対する責任と役割を理解し、資源やエネルギーの効率的な利用による循環型社会の構築や自然環境の保全が重要となっている。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 大気については、常時監視を行い、工場等の協力を得て汚染物質等の排出抑制を図る。 水質については、海・池・河川の測定、分析を行ない、汚濁の状況を監視する。 騒音・振動については、発生源となる工場等に規制基準等を遵守よう指導するとともに、一般環境の中で騒音の状況を監視する。 悪臭については、規制区域ごとにそれぞれ基準を設けて規制していく。 地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出削減を通じて環境保全に努める。

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	8.1	10.7	7.8	
満足度(%)	-15.7	-10.2	-8.2	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度が減少し満足度が上がっているが、依然として大気汚染、水質汚濁、騒音・振動といった公害問題についての苦情、問い合わせが寄せられている。今後も、市民意識の向上を図るとともに、環境の保全や改善に向けた新たな取り組みを行っていく必要がある。
---------------------	---

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	目標	%	20.0	20.0	20.0	H21	20.0
	実績	%	25.6	22.8	21.6	H23	20.0
	達成率	%	78.1	87.7	92.6	H28	20.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標①	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-
参考指標②	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									この施策に費やした資源(単位:千円,人)		
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		計	
1 大気汚染防止事業	B	大気環境測定局維持管理事業	単市	4,939	1,110	0.15	6,664	114	0.02	6,935	274	0.04	☆☆☆☆☆	その他	6,715
		大気汚染監視事業	単市	1,220	1,015	0.16	929	839	0.13	41	780	0.12	☆☆☆☆☆	その他	6
		測定機器整備事業	単市	6,140	958	0.13	256	93	0.01	0	234	0.03	☆☆☆☆	その他	
		環境改善施設等整備助成事業	補助	3,304	1,110	0.15	4,590	286	0.05	2,101	623	0.10	☆☆☆☆	その他	
		届出受付事務	単市	35	462	0.07		57	0.01	0	58	0.01	☆☆	人件費のみ	
		苦情処理事務	単市	50	1,101	0.17		1,256	0.19	0	1,557	0.21	☆☆	人件費のみ	
2 休廃止鉱山鉱害防止事業	B	休廃止鉱山鉱害防止事業	補助	86,802	26,473	4.45	80,930	25,954	4.18	56,853	17,698	3.76	☆☆☆☆☆	計画事業	4,286
		水質調査測定事業	単市	3,860	3,974	0.52	2,465	710	0.10	1,903	416	0.06	☆☆☆☆☆	その他	1,950
3 水質汚濁防止事業	B	測定機器整備事業	単市	0	0	0.00		140	0.02	0	100	0.01	☆☆☆☆	人件費のみ	
		岡山三川水質汚濁防止協議会負担事務	単市	10	485	0.08	10	0	0.00	0	100	0.01	☆☆	人件費のみ	
		苦情処理事務	単市	145	1,209	0.18	44	1,501	0.21	0	3,105	0.39	☆☆	その他	
		金剛川浄化対策協議会運営事務	単市	0	0	0.00	820	965	0.12	820	479	0.08	☆☆	その他	820
4 騒音・振動対策事業	B	届出受付事務	単市	20	570	0.08		47	0.01	0	158	0.02	☆☆☆	人件費のみ	
		苦情処理事務	単市	41	855	0.12	14	208	0.04	0	234	0.03	☆☆	人件費のみ	
5 まほろば事業	B	まほろば事業	単市	0	9,640	1.10	86	5,248	0.70	0	3,279	0.41	☆☆☆☆	H20終了	
6 地球温暖化防止対策事業	B	地球温暖化防止対策事業	単市	0	10,168	1.04	4,528	3,121	0.40	0	1,532	0.18	☆☆☆☆☆	計画事業	17,915
				平成18年度	平成19年度	平成20年度				計					
				106,566	59,130	8.40	101,336	40,539	6.19	68,653	30,627	5.46			31,692

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	野谷坑廃水処理場改修事業	老朽化している処理場を改修し、施設を自動化することにより、維持管理費の軽減を図る

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	4	法令に基づく事業については、市が相当部分実施している。その他の事業については、任意団体やボランティア等が積極的に関与、参画しており妥当である。	3	市民の生活環境の保全と健康の保護を守る事業で、市の関与は妥当である。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	環境保全対策事業として適性・妥当である。	3	環境保全対策事業として妥当である。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	4	成果指標の数値は目標値に達していないが、目標年次には達成が可能な状況である。環境保全のため有効な施策である。	4	市民意識調査結果(騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合)では、ある程度成果が現れており、有効な施策である。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	地球温暖化防止対策の一環として、クリーンエネルギーを活用した事業展開に取組む必要がある。また、市民への積極的な啓発活動も必要。大気汚染防止事業については、より正確で適正な調査に留意すること。		地球温暖化防止対策をはじめ、市民の環境保全に対する意識は高まっている。今後も関係機関と協力し、環境保全に努めていく必要がある。	
二次評価者コメント	日常生活に大きく影響を及ぼす公害、さらには生活環境の諸問題について、市民一人ひとりが環境に対する責任と役割を理解し、官民一体で環境の保全や改善に向けて取組んでいく必要がある。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 民生部長 氏名 山口 和夫			3中立	平均的な配分